

令和4年度第2回
木更津市
国民健康保険事業の
運営に関する協議会

令和4年8月29日月曜日
書面表決書提出期限

目 次

報告事項 1

令和 3 年度木更津市国民健康保険事業報告について

・・・・・・・・・・ 1

報告事項 2

令和 3 年度木更津市国民健康保険特別会計

決算見込について・・・・・・・・ 5

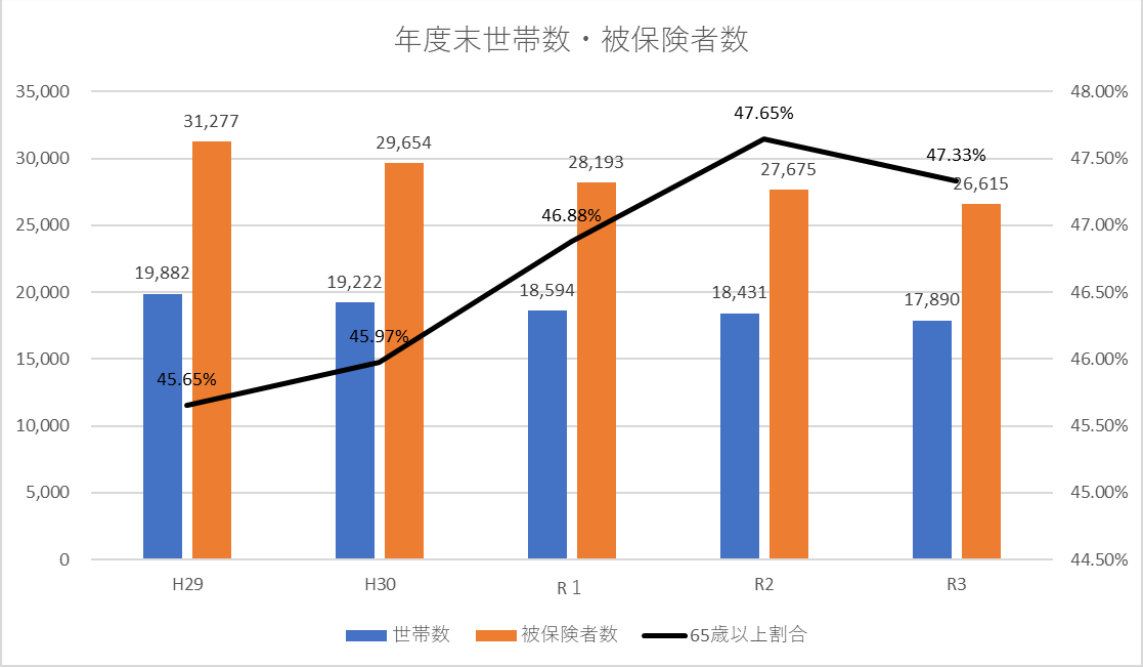
報告事項 1

令和 3 年度

木更津市国民健康保険事業報告

令和 3 年度木更津市国民健康保険事業報告

木更津市国民健康保険加入者の概要



直近 5 年度末の世帯数、被保険者数、6 5 歳以上被保険者数の割合は上のグラフのとおり推移しています。

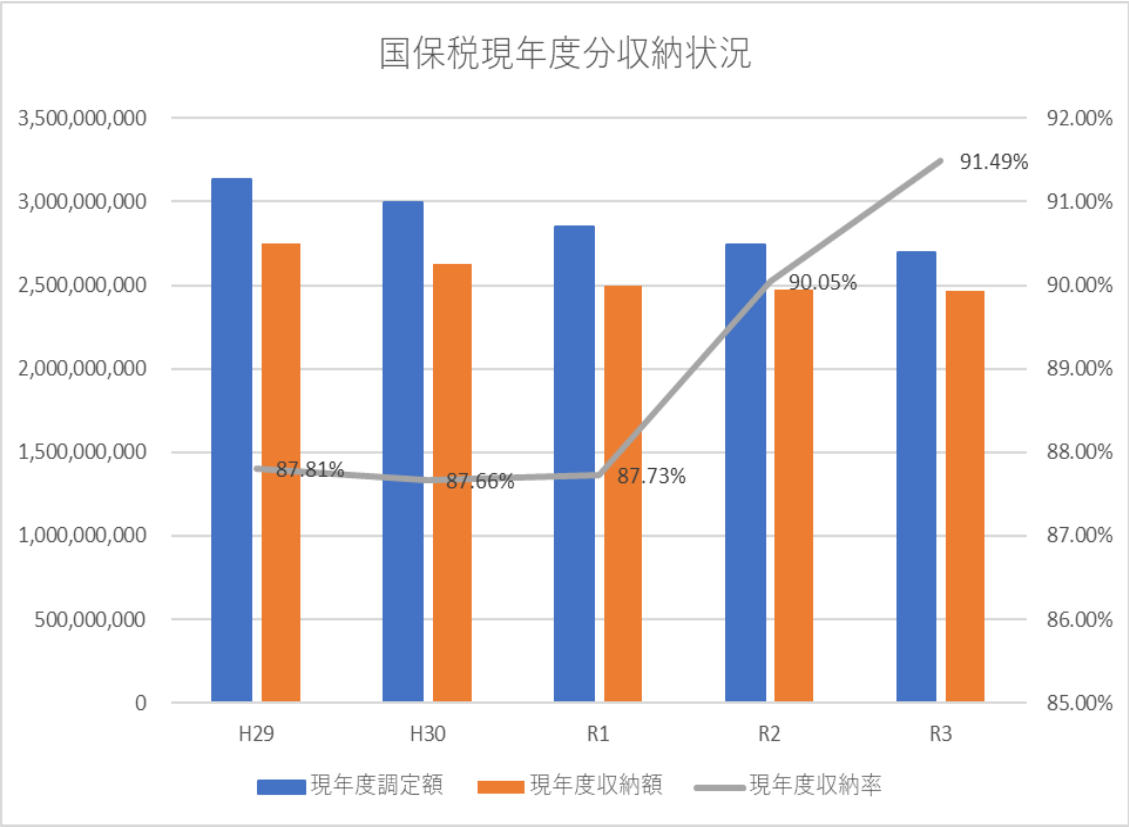
世帯数、被保険者数は漸減傾向にありますが、6 5 歳以上被保険者の割合は増加傾向にありました。団塊の世代が 7 0 歳代になる等で令和 2 年度にピークを迎えましたが、令和 3 年度は働き方改革による 6 0 歳代世代の就労の増加、社会保険加入の影響から割合が減少に転じました。

また、外国人加入者の動向は以下のとおりです。

時点	被保険者数	外国人人口	加入率
R 4 . 3 . 3 1	6 9 1 人	2 , 6 1 4 人	2 6 . 4 3 %
R 3 . 3 . 3 1	7 5 0 人	2 , 7 0 8 人	2 7 . 7 0 %
R 2 . 3 . 3 1	7 9 3 人	2 , 5 9 5 人	3 0 . 5 6 %

近年は技能実習生の外国人転入が多くみられ、社会保険に加入することが多いため、被保険者数、加入率とも減少傾向にあります。

木更津市国民健康保険税（現年度分）収納状況



国民健康保険税現年度分の調定額（徴収すべき金額）、収納額、収納率は上のグラフのとおりです。被保険者数の減少に伴い、調定額は減少傾向ですが、収納率については増加傾向にあります。

年度	H29	H30	R1	R2	R3
現年度調定額（円）	3,135,716,900	2,997,218,800	2,849,446,800	2,744,159,300	2,699,227,900
現年度収納額（円）	2,753,362,440	2,627,388,283	2,499,859,006	2,471,020,188	2,469,540,761
現年度収納率	87.81%	87.66%	87.73%	90.05%	91.49%

国民健康保険事業について、令和３年度の事業計画により主要事業としてあげた項目について、新規に取り組んだもの、効果が上がったものを中心に報告いたします。

(1) 収納率向上対策事業

<電子マネーによる納付の拡大>

・令和３年１月１日からの LINE PAY、PAY PAY 払いの開始に加え、令和３年１０月１日からアクアコインによる国民健康保険税の納付ができるようになりました。

<督促状による納付>

・令和３年１０月発行のものから、督促状による納付ができるようになりました。

(2) 適用適正化対策事業

<年金記録等に基づく資格の得喪についての勧奨>

・６０人を社会保険へ移行（国保喪失手続きを含む）しました。
国民年金喪失者への社会保険加入届出勧奨１１８人⇒２８人届出
厚生年金加入者の勤務先への調査１１人⇒９人届出
社会保険の被扶養者となる可能性ある者への勧奨２２７人⇒２３人届出

(3) 医療費適正化対策事業

<後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及促進>

・令和３年度に通知送付者が後発医薬品に変更した薬剤費は４,６５９,９５４円でした。
・代替後発医薬品が存在する薬剤についての後発品の割合は数量で７３.４％（前年同月比＋０.１）、金額で６７.０％（前年同月比＋１.２）です。（令和４年２月調剤分）

<君津木更津薬剤師会と協働して行う重複服薬患者への保健指導>

・２５名を抽出して文書による重複服薬指導を実施し、対象者の指導前後３か月の医療費、薬剤費を比較して２５名合計で月額平均５２７,５９３円減少しました。

(4) 「木更津市第2期データヘルス計画」の推進 ・令和2年度に実施したデータヘルス計画中間評価ではおおむね計画目標を達成できているとしましたので、引続き、計画に基づき特定健康診査等の事業を推進しました。
(5) 特定健康診査・特定保健指導事業 <特定健康診査> ・受診者数 8,525 人（前年度比△346 人、受診率は若干増の見込み） ※受診者実数を計上していますので法定報告値（国の基準で計算した値）とは異なります） <特定保健指導> ・令和2年度実施終了者数 318 人、実施率 34.4%（前年比+2.2%） （事業期間が10月～翌年9月となる為、令和3年度の確定値は11月になります）
(6) 生活習慣病重症化予防保健事業（健康推進課と連携） <慢性腎臓病、糖尿病性腎症、脳・心血管病（脳梗塞、脳出血、心筋梗塞等）> ・腎臓病地域連携パス 交付数 1,065 件 ・脳・心血管病重症化予防 保健指導者数 105 人 ・糖尿病性腎症重症化予防 保健指導者数 129 人
(7) その他保健事業 ・単独受検 1,130 件、脳ドック併用 330 件、合計 1,460 件に助成しました。 昨年度比単独受検+136 件、脳ドック併用+69 件、合計+205 件です。 令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響による受検控えからある程度回復したからと考えます。（令和元年度は合計 1,562 件）
(8) 広報啓発事業 <広報きさらづ> ・令和3年8月号で特定健康診査、特定保健指導の特集ページを1ページ作成しました。

報告事項 2

令和 3 年度

木更津市国民健康保険特別会計

決算見込

決算見込については歳入、歳出、実質収支の順にお示しします。それぞれの内容については別添の「歳入補足説明」「歳出補足説明」をご覧ください。

【用語の説明】

予算現額

年度開始前に組まれる当初予算額に、補正予算での増減を加えた予算額です。

調定額

予定される収入を決定（＝調定）した金額です。国民健康保険税であれば、徴収すべき金額となります。

収入済額

調定額のうち、実際に収入された額です。

不納欠損額

調定額のうち、時効到来などで収入できなくなった額です。

収入未済額

調定額のうち、年度内に収入できなかった額です。

支出済額

予算現額のうち、実際に支出した額です。

翌年度繰越額

当該年度に事業が終了しなかったことにより、翌年度に繰越した額です。

不用額

歳出予算の経費の金額のうち、結果として使用する必要がなくなった額です。あらかじめ確定している不用額（契約の入札差金等）は、補正予算が間に合えば減額します。

しかし、保険給付費（医療費）のような不確定のものは、年度末の支出見込で補正を行いますが、予測を下回った場合は不用額となってしまいます。

歳 入

(単位：円)

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
5 国民健康保険税		2,798,111,000	4,155,034,522	2,847,581,614	109,051,659	1,198,401,249	49,470,614
	5 国民健康保険税	2,798,111,000	4,155,034,522	2,847,581,614	109,051,659	1,198,401,249	49,470,614
10 使用料及び手数料		1,000	11,400	11,400			10,400
	5 手数料	1,000	11,400	11,400			10,400
15 国庫支出金		8,223,000	7,479,000	7,479,000			△ 744,000
	10 国庫補助金	8,223,000	7,479,000	7,479,000			△ 744,000
25 県支出金		8,931,502,000	8,835,994,728	8,835,994,728			△ 95,507,272
	10 県補助金	8,931,502,000	8,835,994,728	8,835,994,728			△ 95,507,272
35 財産収入		6,000	6,487	6,487			487
	5 財産運用収入	6,000	6,487	6,487			487
37 寄附金		217,000	217,000	217,000			
	5 寄附金	217,000	217,000	217,000			
40 繰入金		861,813,000	852,130,291	852,130,291			△ 9,682,709
	5 一般会計繰入金	861,813,000	852,130,291	852,130,291			△ 9,682,709
	10 基金繰入金						
45 繰越金		17,515,000	17,514,186	17,514,186			△ 814
	5 繰越金	17,515,000	17,514,186	17,514,186			△ 814
50 諸収入		103,548,000	137,093,156	133,964,789	1,152,295	1,976,072	30,416,789
	5 延滞金及び過料	83,871,000	117,596,428	117,596,428			33,725,428
	15 雑入	19,677,000	19,496,728	16,368,361	1,152,295	1,976,072	△ 3,308,639
歳 入 合 計		12,720,936,000	14,005,480,770	12,694,899,495	110,203,954	1,200,377,321	△ 26,036,505

歳 出

(単位：円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
5 総務費		221,110,000	212,765,515		8,344,485	8,344,485
	5 総務管理費	201,855,000	194,669,720		7,185,280	7,185,280
	10 徴税費	18,698,000	17,778,881		919,119	919,119
	15 運営協議会費	557,000	316,914		240,086	240,086
10 保険給付費		8,828,808,000	8,700,340,581		128,467,419	128,467,419
	5 療養諸費	7,678,518,540	7,566,634,675		111,883,865	111,883,865
	10 高額療養諸費	1,103,801,000	1,091,679,640		12,121,360	12,121,360
	13 移送費	51,000			51,000	51,000
	17 出産育児諸費	35,718,000	32,763,960		2,954,040	2,954,040
	20 葬祭諸費	10,200,000	8,750,000		1,450,000	1,450,000
	25 傷病手当金	519,460	512,306		7,154	7,154
14 国民健康保険事業費納付金		3,429,032,000	3,429,030,682		1,318	1,318
	5 医療給付費分	2,228,779,000	2,228,778,223		777	777
	10 後期高齢者支援金等分	842,000,000	841,999,459		541	541
	15 介護納付金分	358,253,000	358,253,000			
20 共同事業拠出金		4,000	211		3,789	3,789
	5 共同事業拠出金	4,000	211		3,789	3,789
25 保健事業費		166,472,000	143,575,704		22,896,296	22,896,296
	3 特定健康診査等事業費	100,629,000	82,026,574		18,602,426	18,602,426
	5 保健事業費	65,843,000	61,549,130		4,293,870	4,293,870
30 基金積立金		48,752,000	223,487		48,528,513	48,528,513
	5 基金積立金	48,752,000	223,487		48,528,513	48,528,513
40 諸支出金		16,758,000	15,029,027		1,728,973	1,728,973

(単位：円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
	5 償還金及び還付加算金	16,758,000	15,029,027		1,728,973	1,728,973
45 予備費		10,000,000			10,000,000	10,000,000
	5 予備費	10,000,000			10,000,000	10,000,000
歳 出 合 計		12,720,936,000	12,500,965,207		219,970,793	219,970,793

歳入歳出差引残額 193,934,288円

うち基金繰入額 183,865,612円

実 質 収 支 に 関 す る 調 書

(単位 : 千円)

区 分		金 額
1	歳 入 総 額	12,694,899
2	歳 出 総 額	12,500,965
3	歳 入 歳 出 差 引 額	193,934
4	翌年度へ繰り越すべき財源	
	(1) 継続費通次繰越額	
	(2) 繰越明許費繰越額	
	(3) 事故繰越し繰越額	
	計	
5	実 質 収 支 額	193,934
6	実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	183,866

国民健康保険特別会計